

<b>炭酸水素カリウム水溶剤</b> <b>カリグリン</b>	<b>取扱メーカー：</b> 石原，O A T  <b>原体メーカー：</b> O A T
<b>成分：</b> 炭酸水素カリウム……………80.0%	<b>性状：</b> 類白色水溶性粉末  <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- うどんこ病・さび病・灰色かび病などに高い効果を示す。
- 主成分は食品、医薬品に使用されており、人畜安全性が高い。分解物であるカリウムイオン、炭酸イオンとも広く天然に存在しており、環境に影響が少ない。
- ミツバチ、蚕が本剤のかかった葉に触れても、食べても影響はない。マルハナバチ、チリカブリダニにも影響は少なく、天敵利用の防除体系が可能。
- 主成分の炭酸カリウムは防除効果を発揮した後、植物に吸収され肥料効果を発揮する。
- 既存剤の耐性菌にも効果があり、作用特性より病原菌に耐性菌がつきにくいと考えられる。
- 散布中、散布後に臭い、汚れがなく、収穫前日まで使用可能。
- 有機 JAS 使用可能農薬。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 発病初期（病斑が少し見えはじめた時期）に散布する。
- 展着剤はかならず加用する。
- 残効性が短いので、5～7日間隔で2～3回散布する。
- 接触タイプの治療剤なので、病原菌に薬剤がよく付着するように丁寧に散布する。
- かぼちゃに使用する場合は、多発時には散布間隔を短くし、十分量散布する。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 適用作物（メロン）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

【適用と使用方法】 .....

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤及び炭酸水素カリウム を含む農薬の総使用回数	使用方法
麦 類	うどんこ病	500 倍	60～150 ℓ	前日まで	—	散布
野 菜 類 (トマト, ミニ トマトを除く)		800～1000 倍	100～300 ℓ			
ト マ ト ミニトマト	さび病	800 倍				
	灰色かび病					
	うどんこ病	800～1000 倍				
さび病	200～500 ℓ					
灰色かび病						
葉かび病						
うどんこ病		200～700 ℓ				
灰色かび病						
ホ ッ プ	うどんこ病	800～1000 倍	100～180 ℓ	3日前まで	2 回以内	
ブルーベリー	灰色かび病					
りんご	うどんこ病	800 倍	150～500 ℓ	発病初期	—	
たばこ						
花き類・ 観葉植物 (きくを除く)						
き く						うどんこ病
	白かび病					